

行財政改革、観光事業、 病院事業及び町税料の滞納 状況について



南雲正美

町長は平成14年合併懇談会を9会場で開催され、きらりと光る町造りをする、住民に配布された。長期町財政収支見込みを説明されて、合併しない決意表明からわずか3年後の平成16年現在において平成19年度の予算編成は赤字編成が予想され、厳しい状況です。財政調整基金が底をつく事であり、この要因はロープウエーの建設債17年残高7.54億円と、病院建設事業で38億円の巨額資金を支出しているのと、税及び町収入料金未納累計額が1月末現在で20億円を突破、財政を圧迫している。このような膨大な支出を決定した執行責任者町長と、町議会には大きな責任があります。町長選において町長は病院経営は赤字になるからと言いながら病院を建設し、16年度には一般会計から1億6千万円繰り入れしている。ロープウエー観光事業会計に3億5千万円繰り入れしている状況から今後の経営は民営化か公設民営化の営業経営にすべきと考える。

一般

質

問

行財政改革について

質問

行財政改革の年次実施計画による財政確保はどの程度達成出来るか。現在の一般会計からの繰り出しをみると最低5億円の削減が必要であり町は小学校と保育園10ヶ所の統廃合を含めた大行政改革が急務と考えるがどうか。

町長答弁

行財政改革として今年は、事務事業の見直しに取り組み2億7千万円の削減を図る見通しであり、今後は平成18年より学校、保育園も統廃合は地域の理解を得て進める。

観光事業会計について

質問

平成16年度観光事業会計で3億5千万円一般会計からの繰り入れとなっている現状から町の経営は限界であり、残された道は、民営化の経営しかないと思うがどうか。

町長答弁

現状では今の経営しかな

病院事業会計について

質問

いが今後民営・委託・冬季営業休止・不採算ヶ所の営業休止等を含めて検討し、早急に方向を示したいと考えている。

町長答弁

病院事業会計に一般会計から1億6千万円繰り入れの経営であるが、町との契約で整形外科の医師が現在も配置されていない状況が続いている。病院運営の地域振興医療に年間の補助金8千万円を繰り入れていることから、契約が履行されていない現状は契約違反であり、繰り入れ額は半額にすべきである。町長は病院経営は順調であると報告されている。町の財政調整基金残高が激減状況の打開策として病院の建物だけ地域振興医療に売却し土地は貸地にすれば貸地料と固定資産税が入り町財政の立て直しとなるがどうか。

町長答弁

整形外科医の件は再三申し入れをしている。地域振興医療は建物を有しない委



滞納税の収納対策を強く進めよ 収納課

質問

託経営であるので、現段階では、申し入れをしない。

町税、健保、介保、上下水道温泉の滞納累計額が1月現在で20億円を突破し財政を圧迫している。苦しくも税料を納め、苦しくなくとも税料を納めない町民、これでは公正公平性は保たれていない現状を放置出来ない。収納課は一丸で頑張っている。町長、町幹部は、収納策を出すべきと考えるがどうか。

町長答弁

滞納通知と水道温泉について、供給停止通知を発し、対応している。今後も広報で町民の協力を求めていき収納率を上げたい。